



## 新潟・下越

まじごころこめておもてなし

### 合資会社越前屋ホテル

越前屋ホテルは新潟県のほぼ真ん中に位置する三条市にあるビジネスホテルです。三条市は豊かな田園風景が広がる新潟平野の真ん中にあり、日本一の信濃川と五十嵐川の合流地点に位置することから、古くから物流の拠点として栄えてきました。さらに浄土真宗大谷派の三条東別院や法華宗総本山の本成寺を擁するなど新潟県内でも有数の人の集まる町でした。そのような歴史、立地から、交易や、参拝客の宿場として多くの宿があり、越前屋もそのような宿のひとつとして江戸時代の中頃からあったと言われています。



以前は越前屋旅館として営業していましたが、40年ほど前に、ホテルのスタイルに変え、名前も越前屋ホテルとしました。旅館の頃は畳部屋と大浴場、共同トイレといった旅館のスタイルでした。戦後の高度成長期にまだホテルのスタイルが珍しかった頃、地域でいち早く水洗の洋式トイレとバス付きの洋室を備えたことで、燕の洋食器や三条の金属加工品のバイヤーとして来た多くの欧米人が越前屋旅館をご指定くださいました。そして、日本人のお客様も欧米人のようなスタイルを好むようになり、越前屋も

旅館形式からホテル形式に変わっていきました。さて、越後にあってなぜ越前屋という名前なのか良く聞かれます。恐らく、通信が発達していなかった時代は予約制度など無く、ほとんどの宿泊客が当日、現地で宿を決めたので、自分の地元の名産の宿に泊まることの安心感から、宿に地名を付けることが多かったのではないかと想像します。戦後、電話が普及し、現地に行く前にあらかじめ宿泊予約ができるようになりました。そして、10数年前からインターネットが普及し、電子メール、宿泊予約サイトを利用して予約するようになってきています。相手の話し言葉だけで情報をやりとりする電話に比べ、インターネットでは、宿泊施設の写真や利用者の評価などのより多くの情報がやりとりできるメリットがあります。そのため、予約手段も電話からインターネットに変わっていくように思われますが、宿泊業界では、手軽さと情報の信頼性が残る電話予約が今も主流になっています。

お客様との対応が印象を決め、仕事の成果につながるサービス業においては、電話対応の技術は仕事上重要な位置を占めます。ユーザ協会様が提供される電話対応技術、品質向上の数々のプログラム、セミナーは電話での情報交換能力向上や印象アップにたいへん役立っています。当ホテルではこれらのプログラムを通して真心こめたおもてなしをより向上させていきたいと考えています。越前屋ホテルはビジネスホテルですが、宴会場も備え、100名様クラスの会合や宴会などにも対応できます。三条にお越しの際はどうぞご利用ください。



**合資会社越前屋ホテル**  
〒955-0072 三条市元町2番16号  
TEL:0256-32-6221  
FAX:0256-32-6222  
Email e-hotel@echizenya-hotel.com

水田株式会社「布ギャラリー」は、新潟県小千谷市で手織り本麻や小千谷縮などの麻製品を企画して製造・販売する会社です。全国でも有数の麻織物の産地であり、美しい山河に恵まれたこの地で当社は始まり、1977年から現在まで、一貫して職人の手仕事と伝統技法にこだわったものづくりに励んできました。直営店舗「布ギャラリー」とオンラインショップを運営しているほか、卸として全国に製品を届けています。

当社の事業の柱は2つあります。一つは、当社職人が昔ながらの手作業で染め上げる染色加工部門です。図案・型紙彫り・米粉糊伏せ・手引き染め・蒸し作業・糊落とし水洗・テント仕上げの工程を経て、のれんやタペストリーなど、美しく豊かな表情のインテリア用品が誕生します。既製品のほか、色やデザインを自由に指定可能なフルオーダーも承っています。企画営業部と密に協同することで、お客様の求めるご要望に



**水田株式会社 (布ギャラリー)**  
〒947-0005 小千谷市旭町11-4  
TEL:0258-82-3213 FAX:0258-83-3981  
営業時間 10:00~17:00  
<https://ojiya-chijimi.jp/>

え得る生産管理体制を確立してあります。そしてもう一つは、上質な天然素材生地を使ったオリジナル商品の開発です。なかでも伝統ある麻織物「小千谷縮」の技術や魅力を今に活かすために、当社ができること。それは、より多くの人が手にとれる、現代の暮らしに合ったデザインの開発です。当社では小千谷縮をモダンなバッグや雑貨小物に取り入れて多数提案するほか、ファッション用として独自に改良し、広幅で織り上げた縮布(ちぢみふ)を使ってファッションの提案もしております。小千谷縮は、織面の「シボ」と呼ばれる独特な凹凸が特徴です。もともと苧麻(ラミー)は、吸水性と放熱性に富み、肌にとってもやさしい素材ですので、シボの要素が加わることによって、より一層清涼感が増した織物になります。洗濯機で洗うことができアイロンいらす、手間をかけずに付き合えるのも縮の魅力だと思えます。

これらを展示販売している本社併設の店舗「布ギャラリー」には、全国から年間約2万人の方が訪れます。お客様にゆったりとみて感じていただけるよう、季節の花々や古い家具を配した落ち着いた空間づくりになっています。また多くの方に小千谷縮の魅力伝えていきたいと願い、織物に関する資料コーナーを設けました。特別感のあるギフトから手軽なお土産品まで、雑貨小物類も充実しておりますので、小千谷にお越しの際にはぜひお立ち寄りください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。

## 耳より情報

**もしもし検定4級の概要**  
試験実施主体：公益財団法人日本電信電話ユーザ協会  
検定試験方法：筆記検定試験  
試験の内容：マークシート方式の筆記試験  
出題の範囲：3級教育課程と同レベルとする。  
・教養ある社会人として欠かせない人格的マナー  
・話し言葉・聴くこと・話すこと・気遣うこと  
・敬語と言葉遣いの基本  
・発声・発音の基本  
・電話と対面コミュニケーションの違い  
・様々なコミュニケーションツールと電話メディアの特徴  
・個人情報保護法(概要)  
・電話対応の基礎  
・電話の受け方かけ方、取り次ぎ、伝言  
領域別出題数：ビジネスマナー6問、日本語7問、法的知識2問、コミュニケーションツール2問、電話対応3問 合計20問  
申込先等：長野支部026-223-8619 新潟支部025-211-8381  
詳しくはユーザ協会ホームページをご覧ください。  
検定試験日：毎月第1水曜日(但し、1月・5月は第2水曜日)



## もしもし検定 4級(入門級) 電話対応技能検定

**もしもし検定4級って?**  
電話対応エキスパートを目指す層の拡大を図るため、企業及び受験者の負担を軽減し、参画しやすい、マークシート方式の筆記試験のみで選考を行うエントリークラスのもしもし検定です。試験時間も実技無しの40分で完了し、検定料も1,000円(税別)にて受験することができ、ビジネス電話対応に必要なコミュニケーションの基礎知識を有する事ができます。  
3級合格への道がグッと近くなります。  
●3級受験のための必須研修の一部が免除!  
●3級受験の際の筆記試験が免除!

## 「もしもし検定」過去問にチャレンジ!!

出典：電話対応技能検定 公式問題集3・4級  
発行：日本経済新聞出版社

下記の文例のうち、慣用句が正しく使われているものはどれですか。次の中から1つ選びなさい。

1. 人手をかけたのだが、そこまでは目が回らなかった。
2. 課長にお願いしたら、一つ返事でOKしてくれたよ。
3. 藁をもつかむ思いで、専務にお願いに参りました。
4. A社に協賛を依頼したら、取りつく島もなく断られた。